

第24回

俳句甲子園

HAIKU KOU SHIEN

《開催要綱》

第2版

主催：NPO法人俳句甲子園実行委員会
共催：松山市・愛媛県

<事務局>

〒790-0014

愛媛県松山市柳井町2丁目21-3 グリーンフィールドヒラオカ

TEL 089-943-1512 FAX 089-948-4819

E-mail: info@haikukoushien.com

<俳句甲子園HP>

<http://www.haikukoushien.com/>



全国高等学校俳句選手権大会

第24回俳句甲子園 開催要綱

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 第24回俳句甲子園 全国高等学校俳句選手権大会 |
| 主催 | NPO法人俳句甲子園実行委員会 |
| 共催 | 松山市・愛媛県 |
| 後援 (予定) | 文部科学省、(公社)全国高等学校文化連盟、(公社)松山青年会議所、愛媛県教育委員会 松山市教育委員会、(公社)日本伝統俳句協会、現代俳句協会、(公社)俳人協会 H I A国際俳句交流協会、俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会、松山大学 愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ FM愛媛、愛媛CATV、大街道中央商店街振興組合、松山大街道商店街振興組合 (株)まちづくり松山、お城下松山 (順不同・敬称略) |
| 協力 | 神奈川大学全国高校生俳句大賞 |

開催趣旨

誰でもふと口ずさむことができ、フランス人に「生きる芸術」と呼ばれた俳句。P. ピカソが「広々とした自由」と呼んだ俳句。現在全国の俳句愛好者は500万人を超え、いまや「俳句の時代」といわれるほど、この小さな詩形は、日本人の日々の暮らしに溶け込んでいます。とりわけ愛媛県では、近世から階層を問わずあらゆる分野の人々が俳諧に親しんできました。中世には神仏に捧げる法楽連歌が多く残されており、明治以降には俳句を近代の詩として再生させた正岡子規をはじめとして、高浜虚子、河東碧梧桐、中村草田男、石田波郷、芝不器男、富沢赤黄男など、さまざまな個性に彩られた俳人を輩出した伝統的風土があります。

俳句は、現代を生きる人々の心をく五・七・五という十七音に凝縮されたわずかな言葉の空間に解き放ち、またひとつの作品が読者との間にさまざまな読み方の回路を開き、いろいろに読むことができるという自在な活力にも満ちています。各地から俳句に親しむ高校生が一堂に参集し、俳句を楽しみ、交流することは、本来「座」に集う人々の共同の文芸であった俳句に相応しく、そこから生まれる人間的な交流は、高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。

また、次代を担う若者たちの新鮮な発想と創造性、しなやかで軽やかな感受性は、この小さな詩の未知の魅力を我々の前に開いてくれることでしょう。

以上のように〈俳句甲子園〉は俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。(1997年当時作成)

全国大会までの予定

| | |
|---------------|--|
| 令和3年 6月 8日(火) | 全国大会出場32チーム発表 |
| 7月13日(火) | 団体戦【投句審査結果発表】(上位4チームのみ発表) |
| 8月22日(日) | 団体戦【4チームによる準決勝戦・3位決定戦・決勝戦】 表彰式【団体表彰・個人表彰】 |

歴代優勝・準優勝校（団体の部）

| | | |
|--------|--------------------|---------------------|
| 第 1 回 | 優勝：東温高等学校（愛媛） | 準優勝：愛光高等学校（愛媛） |
| 第 2 回 | 優勝：愛光高等学校（愛媛） | 準優勝：松山東高等学校 B（愛媛） |
| 第 3 回 | 優勝：伯方高等学校（愛媛） | 準優勝：東温高等学校（愛媛） |
| 第 4 回 | 優勝：松山東高等学校（愛媛） | 準優勝：開成高等学校（東京） |
| 第 5 回 | 優勝：吹田東高等学校（大阪） | 準優勝：松山東高等学校（愛媛） |
| 第 6 回 | 優勝：開成高等学校（東京） | 準優勝：高田高等学校 B（三重） |
| 第 7 回 | 優勝：甲南高等学校（兵庫） | 準優勝：開成高等学校（東京） |
| 第 8 回 | 優勝：開成高等学校（東京） | 準優勝：下館第一高等学校（茨城） |
| 第 9 回 | 優勝：熊本信愛女学院高等学校（熊本） | 準優勝：松山東高等学校（愛媛） |
| 第 10 回 | 優勝：開成高等学校 A（東京） | 準優勝：幸田高等学校翡翠（愛知） |
| 第 11 回 | 優勝：開成高等学校 B（東京） | 準優勝：愛光高等学校（愛媛） |
| 第 12 回 | 優勝：松山中央高等学校（愛媛） | 準優勝：洛南高等学校（京都） |
| 第 13 回 | 優勝：開成高等学校 A（東京） | 準優勝：首里高等学校（沖縄） |
| 第 14 回 | 優勝：開成高等学校 A（東京） | 準優勝：幸田高等学校（愛知） |
| 第 15 回 | 優勝：松山東高等学校 A（愛媛） | 準優勝：開成高等学校 A（東京） |
| 第 16 回 | 優勝：開成高等学校 A（東京） | 準優勝：洛南高等学校 B（京都） |
| 第 17 回 | 優勝：開成高等学校（東京） | 準優勝：洛南高等学校 B（京都） |
| 第 18 回 | 優勝：名古屋高等学校（愛知） | 準優勝：北海道旭川東高等学校（北海道） |
| 第 19 回 | 優勝：開成高等学校 A（東京） | 準優勝：東京家政学院高等学校（東京） |
| 第 20 回 | 優勝：開成高等学校（東京） | 準優勝：幸田高等学校（愛知） |
| 第 21 回 | 優勝：徳山高等学校（山口） | 準優勝：開成高等学校（東京） |
| 第 22 回 | 優勝：弘前高等学校（青森） | 準優勝：名古屋高等学校 B（愛知） |
| 第 23 回 | 優勝：開成高等学校 A（東京） | 準優勝：洛南高等学校（京都） |

歴代最優秀句（個人の部）

| | | | |
|--------|-----------------|--------|-----------|
| 第 1 回 | 秋立ちて加藤登紀子が愛歌う | 白石 ちひろ | 松山中央高等学校 |
| 第 2 回 | 朝顔の種や地下鉄乗り換えぬ | 森川 大和 | 愛光高等学校 |
| 第 3 回 | 裁判所金魚一匹しかをらず | 菅波 祐太 | 愛光高等学校 |
| 第 4 回 | カンバスの余白八月十五日 | 神野 紗希 | 松山東高等学校 |
| 第 5 回 | 夕立の一粒源氏物語 | 佐藤 文香 | 松山東高等学校 |
| 第 6 回 | 小鳥来る三億年の地層かな | 山口 優夢 | 開成高等学校 |
| 第 7 回 | かなかなや平安京が足の下 | 高島 春佳 | 紫野高等学校 |
| 第 8 回 | 土星より薄に届く着信音 | 堀部 葵 | 紫野高等学校 |
| 第 9 回 | 宛先はゑのころぐさが知つてをる | 本田 秀光 | 宇和島東高等学校 |
| 第 10 回 | 山頂に流星触れたのだろうか | 清家 由香里 | 幸田高等学校翡翠 |
| 第 11 回 | それぞれに花火を待つてゐる呼吸 | 村越 敦 | 開成高等学校 A |
| 第 12 回 | 琉球を抱きしめにゆく夏休み | 中川 優香 | 菊池高等学校 |
| 第 13 回 | カルデラに湖残されし晩夏かな | 青木 智 | 開成高等学校 B |
| 第 14 回 | 未来もう来ているのかも蝸牛 | 菅 千華子 | 厚木東高等学校 B |
| 第 15 回 | 月眩しプールの底に触れてきて | 佐藤 雄志 | 開成高等学校 A |
| 第 16 回 | 夕焼や千年後には鳥の国 | 青本 柚紀 | 広島高等学校 |
| 第 17 回 | 湧き水は生きてゐる水桃洗ふ | 大橋 佳歩 | 幸田高等学校 |
| 第 18 回 | 号砲や飛び出す一塊の日焼 | 兵頭 輝 | 宇和島東高等学校 |
| 第 19 回 | 豚が鳴く卒業の日の砂利踏めば | 池内 嵩人 | 松山中央高等学校 |
| 第 20 回 | 旅いつも雲に抜かれて大花野 | 岩田 奎 | 開成高等学校 |
| 第 21 回 | 滴りや方舟に似てあなたの手 | 桃原 康平 | 興南高等学校 |
| 第 22 回 | 中腰の世界に玉葱の匂ふ | 重田 渉 | 開成高等学校 |
| 第 23 回 | 太陽に近き嘴蚯蚓を垂れ | 田村 龍太郎 | 海城高等学校 B |

全国大会までの流れ

- ① 6/8 (火) 全国大会出場32チーム発表
(兼題発表/4題)
- ↓
- ② 6/22 (火) 「対戦オーダー用紙」提出締切
- ↓
- ③ 7/13 (火) 団体戦【投句審査結果発表】(上位4チームのみ発表)
(兼題発表/2題)
- ↓
- ④ 7/27 (火) 「対戦オーダー用紙」提出締切 (上位4チームのみ)
- ↓
- ⑤ 8/22 (日) 団体戦【4チームによる準決勝戦・3位決定戦・決勝戦】
表彰式【団体表彰・個人表彰】

■投句の方法

- ・6月8日(火)14時、「俳句甲子園公式ホームページ」上にて、全国大会進出32チームを発表いたします。同時に兼題(4題)を発表いたしますので、未発表の句を各自4句(5名全員)作句し、「対戦オーダー用紙」に入力後、提出締切日(6/22)までに俳句甲子園事務局メールアドレス宛てに送信してください。
- ・「対戦オーダー用紙」は、俳句甲子園公式ホームページ上からダウンロードできます。
- ・全国大会へ出場する5名の選手は、予選時(投句応募)のメンバーと変更することはかまいません。ただし、兼題ごとに選手の変更をすることはできません。

■投句審査の選考方法

- ・投句審査の選考委員は、審査員長13名(6/8公式ホームページ上にて発表)とします。
- ・各選考委員に評価いただいた結果を集計し、団体上位4チームならびに個人賞を決定します。ただし、評価点等で優劣つけがたい場合には、選考委員に協議いただき決定するものとします。

【選考方法】

- ・各選考委員には、学校名ならびに生徒の名前を削除した「オーダー用紙」を配布し、チームとしての評価ポイント(AからC)、個人選考として特選句(10句)を提出いただきます。

【団体選考】

| 評価ポイント | 評価の仕方 |
|--------|--|
| A | 上位第1番目から第4番目のランクに位置付けることができると評価されるチーム、選出するチーム数は4チーム |
| B | 評価Aのチームと比べて評価は拮抗しているが、惜しくも評価Aに入らなかったチーム、選出するチーム数は最大で2チーム |
| C | その他のチームは、すべて評価Cとする |

【個人選考】

| 評価ポイント | 評価の仕方 |
|-------------------------|--|
| 特選句10句 および その上位3句 | ①全国大会の投句審査に提出されたすべての句の中から、特選句として10句選定 ②次に、その特選句10句の中から、審査員長が自らの冠する賞を授けてもよいと評価する句を、評価の高い順に3句選定 |

※ 選考結果(選考委員13名の評価ポイント)については、後日送付させていただきます。

■団体戦について

- ・上記の「投句審査の選考方法」により上位4チームを選出します。(4チームの入賞確定)
- ・選出された4チームは、8月22日(日)松山市総合コミュニティセンターの会場にて、準決勝戦・3位決定戦・決勝戦を行い、各賞(順位)を決定するものとします。
- ・松山市総合コミュニティセンターにて行う団体戦については、全4チームが会場へ集まることができる場合に限り開催するものとし、1チームでも参加できない場合には、7月13日(火)の「団体戦投句審査結果発表」を取りやめ、投句審査の選考結果により、8月22日(日)各賞(順位)の発表をいたします。
- ・会場(松山市)への移動の可否については、事前に全国大会出場32チームに状況確認(アンケート実施)をさせていただきますのでご協力ください。
- ・4チームの同意を得て団体戦の開催を決定した後、大会直前となって参加できなくなった場合には、団体戦(準決勝戦・3位決定戦・決勝戦)すべての試合を不戦敗として扱うものとします。

※注：主催者の判断により団体戦の中止または対戦方法(順位決定)の変更を行う場合があります。

以下、上位4チームにて団体戦を行う場合

■団体戦審査結果発表

- ・7月13日(火)14時、「俳句甲子園公式ホームページ」上にて、投句審査により選出された団体上位4チームを発表いたします。同時に団体戦用(準決勝戦・3位決定戦・決勝戦)の兼題(2題)を発表いたしますので、未発表の句を各自2句(5名全員)作句し、「対戦オーダー用紙」を提出締切日(7/27)までに俳句甲子園事務局メールアドレス宛てに送信してください。
- ・全国大会当日までの事務連絡または問い合わせに対する対応は、その都度行わせていただきます。

全国大会

■全国大会日程(会場：松山市総合コミュニティセンター)

| | | |
|----|--------|-----------------------------|
| 8月 | 21日(土) | 各地 → 松山市(団体上位4チーム) |
| | 22日(日) | 準決勝戦・3位決定戦・決勝戦、表彰式【団体・個人表彰】 |
| | 23日(月) | 松山市 → 各地へ(帰省) |

■全国大会参加費用

- ・全国大会の参加登録費は必要ございません。また、以下のものについては主催者が負担いたしますが、負担する人数は最大9名までとします。(引率者2名、正選手5名、補欠要員2名)

- (1) 旅 費： 高校近隣の駅または空港から松山間の往復交通費(JR・航空運賃等)
大会期間中の会場間移動に関わる費用(松山市内)
- (2) 宿泊費： 2泊3日(朝食付き)

■入場者の制限

- ・当日は無観客にて開催いたします。帯同者ならびに保護者についても入場することはできません。また、参加者については、会場への入場を上記の最大9名までとします。(引率者2名、正選手5名、補欠要員2名)ただし、サポートの必要な生徒さんがおられる場合には事前にご相談ください。

■その他

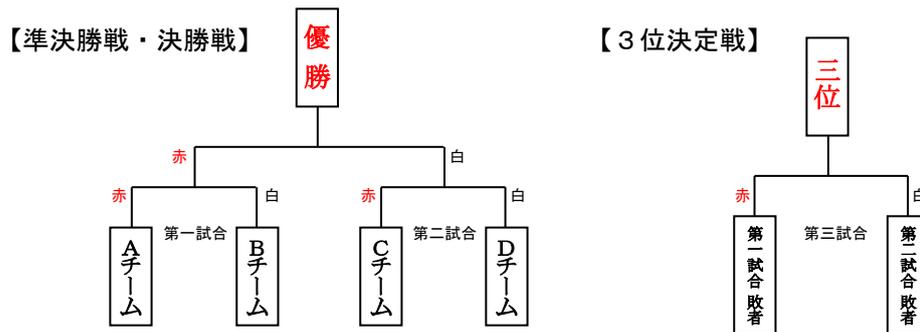
- ・当日はライブ配信を行う予定です。詳細については俳句甲子園ホームページ上にてご案内いたします。

8月22日(日)

会場 松山市総合コミュニティセンター (キャメリアホール)
スケジュール 俳句甲子園ホームページ上にて発表

■準決勝戦・3位決定戦・決勝戦

- ・対戦組合せの抽選後、4チームによるトーナメント戦(計3試合)を行い優勝チームを決定します。
- ・対戦はすべて5句勝負とし、先に3勝したチームを勝者とします。



■表彰

- ・全国大会へ選出された32チームの中から、以下のとおり表彰を行います。
- ・個人表彰については、32チームが全国大会へ提出した640句(1チーム20句×32チーム)を対象とします。(準決勝戦・3位決定戦・決勝戦用に提出された句は含めません。)

《 団体表彰 》

団体優勝 (1チーム)
団体準優勝 (1チーム)
団体3位 (1チーム)
団体4位 (1チーム)

《 個人表彰 》

最優秀賞【文部科学大臣賞】(1名)
優秀賞 (13名)
入選 (20名)

お問い合わせ先

- ・インターネット環境が整っていない等の特別な事情や、お急ぎの場合を除いて、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。
- ・主催者への質疑、確認事項、連絡事項の伝達については、メールまたはFAXにてお願いします。また、その際に送信者のお名前(匿名不可)、連絡先等が確認できない場合には、お問い合わせに対する回答を致しかねますのであらかじめご了承ください。

【大会事務局】 NPO法人俳句甲子園実行委員会

〒790-0014

愛媛県松山市柳井町2丁目21番地3 グリーンフィールドヒラオカ1F

<TEL> 089-943-1512

<FAX> 089-948-4819

E-mail info@haikukoushien.com

第24回俳句甲子園 全国大会までのスケジュール

| 月 | 日 | 内容 |
|----|--------|---|
| 3月 | 1日(月) | 「大会募集要項」、「開催要綱」HP上にて公開 |
| 4月 | 6日(火) | 参加申し込み受付開始【14時】 |
| | | ※予選用 兼題発表(3題) |
| | | ※「対戦オーダー用紙」ダウンロード開始 |
| 5月 | 12日(水) | 参加申し込み締切【14時】 |
| | | 「対戦オーダー用紙」提出締切【14時】 |
| | 19日(水) | 予選(投句応募)参加チーム発表【14時】 |
| 6月 | 1日(火) | 「全国大会についての重要なお知らせ」HP上にて発表・・・開催要綱【第2版】公開 |
| | 8日(火) | 全国大会出場32チーム発表【14時】 |
| | | ※全国大会用 兼題発表(4題) |
| | | ※「対戦オーダー用紙」ダウンロード開始 |
| | | ※審査員長(選考委員)13名発表 |
| | 15日(火) | 全国大会「出場決定通知書および関係資料」送付(実行委員会→参加校へ) |
| | 22日(火) | 「対戦オーダー用紙」提出締切【14時】 |
| | 29日(火) | 上記関係書類提出締切【14時】 |
| 7月 | 13日(火) | 団体戦投句審査結果発表(上位4チーム) |
| | | ※準決勝・3位決定戦・決勝戦用 兼題発表(2題) |
| | | ※「対戦オーダー用紙」ダウンロード開始 |
| | 27日(火) | 「対戦オーダー用紙」提出締切【14時】 |
| 8月 | 22日(日) | 全国大会(準決勝・3位決定戦・決勝戦・表彰式) |